

# 番組審議会

## 第701回

2026年2月16日

- 審議会の構成
- |       |     |    |       |
|-------|-----|----|-------|
| 出席委員数 | 10名 |    |       |
| 委員長   | 音   | 好  | 宏     |
| 副委員長  | 江   | 澤  | 佐知子   |
| 委員    | 川喜田 | 尚  | 田中東子  |
|       | 谷本  | 歩実 | 洞口依子  |
|       | 長嶋  | 有  | 二関辰郎  |
|       | 水無田 | 気流 | 目加田説子 |

TBSテレビ	龍	宝	社長
	合	田	専務
	井	上	取締役
	三	城	コンテンツ戦略局長
	石	橋	コンテンツ制作局長
	小	林	バラエティ制作二部長
	河	本	プロデューサー
	藤	田	編成考査局長
	浜	崎	カスタマーサクセス室長
	満	田	番組審議会事務局長

■ 議事概要

1. 審議事項
  - (1) 「この歌詞が刺さった！グッとフレーズ」  
1月8日（木）20：00～22：56放送
  - (2) その他
2. 事務局報告事項
  - (1) 視聴者からの声

## (2) 次回審議会の議題及び日程

### 【審議番組について】(「この歌詞が刺さった!グッとフレーズ」1月8日放送)

数ある名曲の「心に刺さった歌詞」に注目、名曲の魅力を再発見する歌詞特化型の音楽番組。元々はバラエティ番組「この差って何ですか?」から生まれた企画で、2021年に番組が終了した後不定期特番となった。

審議対象となった第23弾は3時間スペシャル、テーマは「あなたの人生を支えたグッとフレーズSP」。どの曲のどの歌詞にどんな場面でどう支えられたのか、全国1万人に街頭インタビュー&アンケート、寄せられた3156曲の中から得票数が多かった「グッとフレーズ」ベスト30を発表。

ランキング曲以外にも、アーティストゲストが自身の名曲に込めた想いを解説するコーナーや、トップアスリートなど有名人を支えたグッとフレーズ、心に深く刺さる“知られざる”「マイオンリー グッとフレーズ」も紹介。そのうちの1曲、怒髪天「オトナノススメ」が音楽配信サービスで圏外から1位に急浮上、また放送中「グッとフレーズ」がXのトレンド1位になるなど、大きな反響を呼んだ。

### 【委員の主な意見】

- 昭和から最近の曲まで、親子や世代の違う人たちとの間で一緒に話しながら見ることができる、バラエティとしてとてもよい構成だと思いながら見た。
- 街頭インタビューの割合が多く、街の声を大事にしたということが、視聴者と同じ目線、同じような気持ちを感じられてよかった。
- 街録を入れることによって、歌詞の意味を受け手が多様な形で受け取っていることがわかり非常に面白く見た。
- インタビューに答えている街の人たちの目が真剣で、人生を左右するような大切な思い出を真摯に語っていたことが秀逸。それを引き出した番組スタッフの努力を感じた。

- 街録の間に歌手の制作秘話なども入っていることによって、裏話もあり、視聴者の人生話もあり、多面的な構成がよかった。
- プロのミュージシャンがどれだけのことを考えて歌詞を作っているのか、その一端を他の人の歌詞を解釈する際に見ることができて勉強になった。
- アスリートは舞台に立つ最後の最後まで歌を聞いている。グッとフレーズはパフォーマンスによい影響がある。まさにアスリートが感じているのは言葉、改めて言葉の力に触れるという時間になった。
- 選ばれるフレーズに特徴があり、ポジティブ一辺倒ではなく、苦しさや挫折や不安を認めた上で希望を語っている歌詞が多かった。成果が見えづらい今の社会の中で、現状を肯定する言葉が求められているのかなと思った。
- 曲は時代の合わせ鏡、あの時代はこうだったなどと曲を聞きながら、歌詞を見ながら改めて思い返すきっかけになった。曲の発売年のテロップがあれば、見ている側に想像を働かせるのに役立ったと思う。
- 歌詞テロップを、カラオケのように横一辺倒に出すのではなく、縦、横で出していていいなと思った。曲調や歌詞の内容に応じて、フォントや色合いをもっと工夫してもいい。
- 詞に着目した番組である以上は、全ての楽曲に作詞家の氏名を表記した方が、リスペクトする観点からもよかった。
- スタジオゲストのワイプが入ると、リアクションの同調を促される印象がある。特にこの番組では楽曲の世界に入っていくかかったのに、ワイプが余計な感じだった。街録にはワイプを出し、歌手の歌唱シーンにはワイプなしという使い分けもあり得る。

- 全国1万人のアンケートをもとにランキングを作っているが、アンケートのデモグラフィック分布がどうなっているのか全くわからなかった。ランキングの根拠を共有した方がより親切。
- 何回も見ているがちょっとマンネリ感、「グッとフレーズ」の定義にブレを感じた。今回ランキングにしたためにみんなが知っているヒット曲ばかりで、「この応援歌が好きベスト30」になってしまった印象。
- 一番よかったのは、ランキング外の「マイオンリーワン グッとフレーズ」4曲。メジャーな曲じゃなくても「こういう想いの曲が“実は”あるんだ」という、ここにもっと自信を持って欲しい。ただの「ヒット曲を紹介しますよ」じゃない面白さを意識して頑張っていて欲しい。

#### 【局からの回答】

- 「マンネリ」というご指摘。もともとは世代別に「グッとフレーズ」を紹介する番組だったが、今回含めて2回、ランキング形式でやってみた。テーマが「あなたの人生を支えた」のため応援歌一本になってしまい、もう少し考えるべきだった。もしかしたら世代別に戻したほうがいいのではとも考えたりしていたので、とてもありがたいご指摘だと思っている。
- 最初に番組を作ったときは、テロップの出し方とか、ワイプをどうするかなどもう少し丁寧にやっていた。それが少し形骸化してしまっているところがあるのかなと感じた。
- 今回一番評価が高かったのは、怒髪天の「オトナノススメ」というランキング外の曲。知られざる曲をしっかりと番組で発見して、街の皆さんの背中を少しだけ押せるようになったら、番組としても存在する意味があるかなと思っているので、これからもみんなで歌詞のことを徹底的に考えて制作していきたい。